

「がん対策地域別データ集（がん診療連携協議会版）」の公開について

【審議事項】

- ・「がん対策地域別データ集（がん診療連携協議会版）」公開の可否について
- ・「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」のホームページ案内文と各ファイルに付する説明文について
- ・掲載プロセスについて（8種のファイルについては、本日の会議後、委員にご覧いただく。本日頂いたご意見で文案を改訂し、12月1日（予定）に掲載する。追加の2期リリースについては、メール審議で承認をいただき、掲載に進める）

【説明】

1. 趣旨

- ・ロジックモデルと指標を活用したがん対策推進計画の策定・評価が重要となっており、沖縄県のがん対策の策定・評価に活用するため、沖縄県民、沖縄県のがん対策を推進する関係者に提供する。
- ・公開することで、沖縄県以外の住民、がん対策を推進する関係者にもご利用いただくことができるようになる。

2. 経緯

特定非営利活動法人品がん政策サミットが、各種のオープンデータを集めた（一部は集計や加工などを加えてある）「がん対策地域別データ集」を作成していた。活動の終了に伴い、最終更新は2022年5月となった。それを参考に、琉球大学病院がんセンターと（株）ウェルネスが「がん対策地域別データ集」の継続・発展版を作成した。

2023年5月の沖縄県がん診療連携協議会において、「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」として、公開する方向となった。その際、利用者に分かりやすく、誤解を与えない配慮を付すこととされた。

3. 掲載場所（画面遷移）

●入口1

うちな〜がんネットがんじゅう | 沖縄県がん診療連携協議会公式サイト

<https://www.okican.jp/>

⇒「がん対策地域別データ集」のバナーをクリック

●入口2

沖縄県がん診療連携協議会

<https://www.okican.jp/about/>

⇒「がん対策地域別データ集」のバナーをクリック

●掲載場所

がん対策地域別データ集

<https://www.okican.jp/about/1695622683/>

4. 掲載データ（以下の8ファイルがダウンロードできる）

●部位別

- ①がん対策地域別データ集（肺がん）
- ②がん対策地域別データ集（大腸がん）
- ③がん対策地域別データ集（胃がん）
- ④がん対策地域別データ集（乳がん）

●全がん

- ⑤がん対策地域別データ集（全がん）*ファイルにリンク

●医療一般

- ⑥がん対策地域別データ集（医療一般）*ファイルにリンク

●個別情報源

- ⑦がん対策地域別データ集（患者体験調査）*ファイルにリンク
- ⑧がん対策地域別データ集（がん診療行為）*ファイルにリンク

5. 利用の際のルール

各ファイルの最初のシートに、著作権、利用の際のルール、著作権などについて記載した。

（別紙「ご利用の際の留意点などの文案」参照）

6. 利用者への配慮

掲載ホームページに「ご利用の際の留意点」を付した。

（別紙「掲載ホームページ文案」参照）

7. 今後の予定

(1) 評価支援シート（ロジックモデルのフォーマットで指標を全国値と地域値を表示し、ロジックモデルを活用した評価のために簡便に使えるようにしたもの）を2期リリースとして掲載する予定（メール審議にて承認をお願いする予定）。

(2) 「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）は年次程度で更新していくことを想定している。

がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）
掲載ホームページ文案

ホームページ名

がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）

説明文

■背景

がん対策では、ロジックモデル（施策の体系図）と指標を活用し、がん対策の進捗管理や効果の評価を行うことが求められおり、昨今では、それができるようになってきています。

■趣旨

沖縄県がん診療連携協議会は、ロジックモデルと指標の活用が進むように、各種データを収集整理し、公開することとしました。

ご自分の居住する地域の値と全国の値などを対比して、がん対策の課題発見、進捗管理、評価などにお使いください。

これらのデータが、地域のがん対策の評価に役立つことを願っています。また、患者会の活動、医療者の自己評価、行政の政策立案、メディアの報道等にも役立ててください。

■使い方（例）

多様な活用法が想定できます。単独の指標を見るのみならず、ロジックモデルのつながりの中で、複数の指標を関連づけて見ることができるのが、当データ集の特色です。例として下記のような使い方ができます。

○ステップ1 着目点を決める。

下記の2種のロジックモデルを見て、自分の確認したい部分を選びます。この際、分野アウトカム、中間アウトカム、個別施策のつながりを見て、関連する部分をまとめて選択しておくことが大切です。

○ステップ2

下記のデータ集から、ステップ1で選んだ部分に対応する指標を見つけ、全国値と地域のデータの値を並べて読み取ります。全国値、都道府県値、医療圏値、市区町村値、個別病院値を比べることで、居住している都道府県や二次医療圏の問題点や特色を把握することが容易になるかも知れません。

【ロジックモデル】

●部位別ロジックモデル・シート

下記の①～④の部位別データ集は、こちらのロジックモデル・シートに対応した構成となっています。

「がん部位別ロジックモデル・シート（NPO がん政策サミット版）」

*リンク http://cpsum.org/pdf/ccm_1.0.2_logicmodelsheet.pdf

●分野別ロジックモデル

沖縄県がん診療連携協議会では、予防、早期発見、医療提供体制などの分野別にロジックモデルを作成しています（下記資料 3～27 ページ）。これらのロジックモデルにある指標のデータの多数が、下記①～⑧のデータ集から採取できます。

「分野別ロジックモデル（沖縄県がん診療連携協議会案）」

*リンク https://www.okican.jp/userfiles/files/kyougikai/reiwa5nenndo/2kai/8_1.pdf

【データ集】（ダウンロード）

●部位別

- ①がん対策地域別データ集（肺がん）*ファイルにリンク
- ②がん対策地域別データ集（大腸がん）*ファイルにリンク
- ③がん対策地域別データ集（胃がん）*ファイルにリンク
- ④がん対策地域別データ集（乳がん）*ファイルにリンク

●全がん

- ⑤がん対策地域別データ集（全がん）*ファイルにリンク

●医療一般

- ⑥がん対策地域別データ集（医療一般）*ファイルにリンク

●個別情報源

- ⑦がん対策地域別データ集（患者体験調査）*ファイルにリンク
- ⑧がん対策地域別データ集（がん診療行為）*ファイルにリンク

【データ集の説明】

①～④の部位別表には、上記の部位別ロジックの分野アウトカム、中間アウトカム、初期アウトカムの順に対応し、データを収納しています。

⑤の全がん表には、全がん合計やがん全般に関わるデータがあります。

⑥の医療一般表は、がんに限らず、がん対策（医療）を取り巻く地域医療提供体制などを理解するために有益と思われるデータを集めました。

⑦の患者体験調査表は、「患者体験調査報告書 平成 30 年度調査 参考資料（都道府県別調査結果）」から、県別値を採録しました。

⑧のがん診療行為表は、がん診療の実施状況を示すナショナルデータベース・標準化レセ

プト出現比（NDB-SCR）データの中から、がん対策の検討に有益と思われる項目を集めました。

【ご利用の際の留意点】

- ・ 下記など、データの限界とデータからの推論の限界を理解した上でご利用ください
- ・ それぞれの指標項目とデータには妥当性（測ろうとしていることに近いか）と精度（データ自体の正確性など）などの限界があること
- ・ 指標項目ごとに妥当性、精度などの度合いに違いがあること
- ・ 過去のデータであること。データによってはかなり以前のデータであること
- ・ 項目間の因果関係については、相関があっても必ずしも因果関係があるとは限らないこと
- ・ データはある程度の期間の経年変化を継続観察しなければ解釈が難しい点があること
- ・ 個別項目データには多様な背景がある可能性があり、単独データ項目だけでは優劣の判断が難しい場合が多いこと（例：個別病院のがん部位別ステージ別5年生存率は、患者のがん以外の病状などを織り込んでいない）
- ・ 対象の抽出数が少ないことなどから、地域間比較が必ずしも適切ではない項目が含まれていること（例：患者体験調査の都道府県別数値は、全国値と個別都道府県値の比較、個別都道府県値の経年変化に一定の意味はあっても、都道府県間の比較は適切と考えにくい）

がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会）案
各 Excel ファイルの「ご利用の際の留意点など」の文案
（肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、全がん、医療一般の 6 表用）

ご利用の際の留意点など

1. 趣旨

このツールは、都道府県等でのがん対策推進計画の策定・評価において、ロジックモデルの活用が円滑に進む一助となるように作成し、公開するものです。ご利用になる場合は、著作権、利用の際のルール、免責事項等をご確認ください。

2. データ集の作成過程とお願い

NPO がん政策サミットが「がん対策地域別データ集」を作成していましたが、活動の終了に伴い、最終更新は 2022 年 5 月までとなりました。それを参考に、琉球大学病院がんセンターと（株）ウェルネスが「がん対策地域別データ集」の継続・発展版を作成した。沖縄県がん診療連携協議会の承認を得て、「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」として、広く一般の利用に供することとしました。

ロジックモデルの指標となりえる項目に関し、公表データを中心に地域別（都道府県、二次医療圏、市区町村、個別病院単位）のデータ集をまとめてあります。指標定義や出典は「出典情報」シートをご確認ください。

各地で活用する際には、本ツールの指標を参考としつつ、地域で作成されているロジックモデルや地域で独自に収集されているデータなども合わせて吟味のうえ、ご活用ください。

データの誤りなど、お気づきの点がある場合は、沖縄県がん診療連携協議会の事務局である琉球大学病院がんセンターまでご連絡ください。

3. 著作権

「がん計画地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」は、事務局である琉球大学病院がんセンターとその業務委託を受けた株式会社ウェルネスが共同で独自の編集・作成を行っています。

編集された当データ集に関する著作権は、「沖縄県がん診療連携協議会」ならびに「株式会社ウェルネス」に帰属します。

4. 利用の際のルール

営利目的の販促物等への引用掲載等を除き、どなたでもご利用いただけます。当データ集

の販売は禁じます。当データ集を利用した論文、記事、資料、計画文等には、「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」と出典表記する、もしくは著作権「(c) 沖縄県がん診療連携協議会、株式会社ウェルネス。All Right Reserved.）を明記してください。

5. 免責事項

沖縄県がん診療連携協議会およびウェルネスは、当データ集の基とするデータの収集および提供には万全を期していますが、その完全性、正確性を保証するものではなく、利用者が当データ集を利用して行う一切の行為及び利用者が被った損害及び損失に対して、いかなる責任も負いません。利用者は、自らの責任において当データ集を利用するものとします。

6. 更新情報

2023.12.01 : Ver.1.0.1 を公開しました。

がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会）案
各 Excel ファイルの「ご利用の際の留意点など」の文案
（患者体験調査表用）

ご利用の際の留意点など

1. 趣旨

このツールは、都道府県等でのがん対策推進計画の策定・評価において、ロジックモデルの活用が円滑に進む一助となるように作成し、公開するものです。ご利用になる場合は、著作権、利用の際のルール、免責事項等をご確認ください。

2. データ集の作成過程とお願い

NPO がん政策サミットが「がん対策地域別データ集」を作成していましたが、活動の終了に伴い、最終更新は 2022 年 5 月までとなりました。それを参考に、琉球大学病院がんセンターと（株）ウェルネスが「がん対策地域別データ集」の継続・発展版を作成した。沖縄県がん診療連携協議会の承認を得て、「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」として、広く一般の利用に供することとしました。

本表では、患者体験調査の都道府県値を採録しています。指標定義や出典は「出典情報」シートをご確認ください。

データの誤りなど、お気づきの点がある場合は、沖縄県がん診療連携協議会の事務局である琉球大学病院がんセンターまでご連絡ください。

3. 著作権

「がん計画地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」は、事務局である琉球大学病院がんセンターとその業務委託を受けた株式会社ウェルネスが共同で独自の編集・作成を行っています。

編集された当データ集に関する著作権は、「沖縄県がん診療連携協議会」ならびに「株式会社ウェルネス」に帰属します。

4. 利用の際のルール

営利目的の販促物等への引用掲載等を除き、どなたでもご利用いただけます。当データ集の販売は禁じます。当データ集を利用した論文、記事、資料、計画文等には、「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」と出典表記する、もしくは著作権「(c) 沖縄県がん診療連携協議会、株式会社ウェルネス。All Right Reserved.）を明記してください。

5. 免責事項

沖縄県がん診療連携協議会およびウェルネスは、当データ集の基とするデータの収集および提供には万全を期していますが、その完全性、正確性を保証するものではなく、利用者が当データ集を利用して行う一切の行為及び利用者が被った損害及び損失に対して、いかなる責任も負いません。利用者は、自らの責任において当データ集を利用するものとします。

6. 更新情報

2023.12.01：Ver.1.0.1 を公開しました。

がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会）案
各 Excel ファイルの「ご利用の際の留意点など」の文案
（がん診療行為表用）

ご利用の際の留意点など

1. 趣旨

このツールは、都道府県等でのがん対策推進計画の策定・評価において、ロジックモデルの活用が円滑に進む一助となるように作成し、公開するものです。ご利用になる場合は、著作権、利用の際のルール、免責事項等をご確認ください。

2. データ集の作成過程とお願い

NPO がん政策サミットが「がん対策地域別データ集」を作成していましたが、活動の終了に伴い、最終更新は 2022 年 5 月までとなりました。それを参考に、琉球大学病院がんセンターと（株）ウェルネスが「がん対策地域別データ集」の継続・発展版を作成した。沖縄県がん診療連携協議会の承認を得て、「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」として、広く一般の利用に供することとしました。

本表では、NDB-SCR（ナショナルデータベース・標準化レセプト出現比）データの中から、がん診療に関すると考えられる項目に関し、都道府県、二次医療圏、市区町村データを収録しています。NDB-SCR は診療行為頻度に関する調整済の指標で、全国値を 100 とし、100 より大きいと頻度が高く、100 より小さいと頻度が低いことを示します。指標定義や出典は「出典情報」シートをご確認ください。

データの誤りなど、お気づきの点がある場合は、沖縄県がん診療連携協議会の事務局である琉球大学病院がんセンターまでご連絡ください。

3. 著作権

「がん計画地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」は、事務局である琉球大学病院がんセンターとその業務委託を受けた株式会社ウェルネスが共同で独自の編集・作成を行っています。

編集された当データ集に関する著作権は、「沖縄県がん診療連携協議会」ならびに「株式会社ウェルネス」に帰属します。

4. 利用の際のルール

営利目的の販促物等への引用掲載等を除き、どなたでもご利用いただけます。当データ集

の販売は禁じます。当データ集を利用した論文、記事、資料、計画文等には、「がん対策地域別データ集（沖縄県がん診療連携協議会版）」と出典表記する、もしくは著作権「(c) 沖縄県がん診療連携協議会、株式会社ウェルネス。All Right Reserved.）を明記してください。

5. 免責事項

沖縄県がん診療連携協議会およびウェルネスは、当データ集の基とするデータの収集および提供には万全を期していますが、その完全性、正確性を保証するものではなく、利用者が当データ集を利用して行う一切の行為及び利用者が被った損害及び損失に対して、いかなる責任も負いません。利用者は、自らの責任において当データ集を利用するものとします。

6. 更新情報

2023.12.01 : Ver.1.0.1 を公開しました。